

会議録要旨

(1) 会議の名称	第2回 越前市子ども・子育て会議
(2) 開催日時	令和2年8月7日(金) 午後7時～午後8時
(3) 開催場所	市民プラザたけふ3階 多目的室1
(4) 出席委員氏名	石川昭義委員 野嶋慎二委員 為沢和憲委員、山本聖三委員、 紘田真紀子委員、ヴォイットランド早苗委員、為永郁美委員、 村下誠一委員、杉原良直委員、深尾美樹委員、松澤紳委員(代理)、 仲村晶子委員、畑山明美委員、西野吉幸委員
(5) 欠席委員氏名	角井尚史委員、真柄宏之委員、土橋仁委員、上原小百合委員、 竹内純子委員、前田千斗世委員
(6) 出席所管課職員職氏名	市民福祉部 川崎部長、須磨政策幹 子ども福祉課 出口理事 渋谷副課長、水野主幹、間所主幹 子ども・子育て総合相談室 須本室長、倉橋副課長、 教育振興課 橋本課長、島田副課長 建築住宅課 立野副課長
(7) 会議議題	1 公立認定こども園の役割と機能について 多文化保育の取組み紹介(上太田保育園) 2 児童小遊園遊具の現状と課題について
(8) 傍聴者の数	1人
(9) 会議資料の名称	・公立認定こども園の整備方針(素案) 資料1 ・児童小遊園遊具の現状と課題について 資料2
(10) 会議の内容の要旨	議事「公立認定こども園の役割と機能について」 ① 機能の中で現在できていない点は→●公立保育園・こども園は保育園機能が強く、就学に向けた連携が公立幼稚園より弱い。●拠点となるセンター機能。●評価の仕組みの確立。●医療的ケア児の受入れ体制の充実。●地域の子育て支援拠点機能の充実。 ② センターを中心に小学校と連携を図っていけるようなコーディネーター的機能を担えるとよい。働きたくなる園、専門職の育成、研修時間の確保。休みがとりやすい等職員のソフト面のサポートの強化。 ③ 多文化共生、インクルーシブな環境・教育・保育は共生の理念である。関係機関と連携し、公立園として私立園もリードしてほしい。地域の人や経験者に関係してもらい仕組みを作り、市民が運営している園、様々な人がコミットできる市民にとっての園であってほしい。 ④ 愛情をもって子どもに接するというハートフルな部分を盛り込んでほしい。→ワーキングで出し方を考えていく。

	<p>議事「児童小遊園遊具の現状と課題について」</p> <p>① 少子高齢化が進んだ集落とまちなかなど場所の問題もあり、維持管理できているところ、できていないところと町内で差があり難しい問題。</p> <p>② 町内によって温度差、考え方の違いがあるかもしれない。子どもの遊び場として必要か、地域の防災拠点にもなりうるという位置づけ、町内会が「自分たちでここを守ろう」という意識を持ってほしい。これからの町内会、自治のあり方だと思う。</p> <p>→今年度の最後の会議で児童小遊園遊具のあり方を諮りたい。</p>
(11) その他	<p>・次回会議は10月下旬予定</p>